

# 「結果至上主義者たちの終着点」

伊波 営業マン。転職して営業部に配属された。

元岡 営業部長。目力が強い。

大川 営業部。一人で会社を支えるエース。

戸塚 営業部。大川の部下。努力家。

営業部。

元岡と伊波が話している。

本日からこちらでお世話になります伊波です。よろしくお願ひします。  
君が伊波くんか。よろしく。営業部長の元岡だ。

よろしくお願ひします。

前の職場では優秀な営業だったそうだね。人事に聞いているよ。

恐れ入ります。

しかし、前職がいかに優秀であろうと、営業は結果が全てだ。特に急成長している我が  
社にとって、最も重要なポジションがこの、営業部だと私は思っている。

はい。

ここに配属された君に期待されるのは、数字だ。どんなやり方でも数字さえ出せば、あ  
る程度のことは目を瞑るつ。結果を・・・期待している。

伊波 はい！お任せください。

うん。まあ他業種からの転職では最初はわからない事も多いだろう。君の指導にはウチ  
の「エース」をつける。まずは彼の元でウチのやり方を覚えてくれ。

元岡 ありがとうございます！

伊波 大川くん。ちょっと来てくれ。

大川が卑屈な小走りでやつてくる。

大川

えつへつへつへつ。びきげん麗しゅうびざいます、部長。アタクシをお呼びでびざいま  
すか？

伊波 エース・・・？

元岡 うん。彼は今日から営業部に配属された伊波なんだ。

大川 ええ！？こちらのお方が？あ！（目を覆う）つあーっ！

伊波 何ですか？どうしたんですか？

大川 すみません、後光が見える、後光が眩しい。

伊波 後光？

大川 いやー、本当に素晴らしい方からは、後光が見えるんですねー、へつへつへ。

伊波 ・・・こちらが・・・？

元岡 彼がウチのエースの大川なんだ。

伊波 エース？

大川 いやいや！そんなそんな！エースなんてとんでもございません。それもこれも皆様のお  
陰で！お陰で、ございまして！もう一重に、部長様のお力あってと言つても、ねえ？  
へつへつへ。よー部長ー日本ー！

伊波 ・・・この人が？

元岡 うん。大川くんは一人でこの会社の売り上げの50%超を叩き出している。

伊波 一人で！？

大川 偶然。偶然でござりますよ。そもそも？伊波さんあつてのみみたいな部分があるじゃない

ですか。

伊波 大川  
いや、今日初対面ですから・・・、

じゃ無いつか！申し訳ございません。へつへつへ。あ！お電話が。少々失礼して、はい、すみません。（電話に出る）はい、大川でございます！・・・あ！ホセ・カレーラスさん？世界三代テノールの。・・・え？あ、山田社長ですか？美声すぎてホセかと思ったー！はいはい。契約の件で・・・え？いいんですか社長？ちょっとー、社長！おい！おい、社長！・・・申し訳ございません！アタクシ、腹を切って・・・切りまっせん！へつへつへ。はいそれじゃ後ほど契約書お持ちしますー。失礼いたしますー、電話切らせていただきますー、失礼しますー。（電話を切る）部長、山田物産の契約の方、五億で、成立いたしました。

元岡 うん・・・。伊波くん。先ほども言つたが私は、数字さえ出せば、ある程度のことは目を瞑る。わかるね？

伊波 あ、こういう・・・あ、はい。

元岡 さて、大川くん。大川くんにはこの伊波くんの、指導を任せたい。

大川 ええ！？アタクシですか？いやいや！そんなそんな！アタクシのような下賤な人間にそのような大役が務りますかどうか。

元岡 大川くん、出来ないのかね？

大川 やらせていただきまっしょ！

伊波 ええ・・・？

大川 僱越ながら、アタクシ大川が、伊波大先生のご指導の方、勤めさせて、いただきまして、ござります。

伊波 よろしくお願ひします・・・。

大川 あ！それでは、一緒に働く事になるアタクシの僱越な部下も、ご紹介させていただきまして、

伊波 僱越な部下？

大川 あ、何か聰明な気付きが？聰明ゆえに、アタクシの発言に対する気付きが？

伊波 無いです無いです！紹介してください！

大川 かしこまりました！戸塚先生！戸塚大先生！

戸塚が卑屈な小走りでやつてくる。

戸塚 えつへつへつへつ。

伊波 ええ！？

戸塚 みなさまお揃いで、じきげん麗しゅうござりますな！あ！（手を覆う）つあーつー後光が！眩しい！

伊波 さつきも見た！さつきも見たやつ！

戸塚 先生、こちら新しく営業部に配属された伊波先生。戸塚先生とご一緒に、アタクシが指導を承りましたので。

伊波 ええ！？ご一緒に？あ、初めてまして。戸塚と申します、あーつーこつちも後光が。いや、そういうのいいですから！

(目を背けた先に部長がいる) あーっ

もうなんなんですか！？

伊波元岡  
もうなんなんですか！？  
戸塚くんは去年、新卒で入社してから大川くんの元で指導を受けて、一年でこうなっ

た。初年度で2億を売り上げた若きエリスだ。

この人か？

いやいや！そんなそんな！エースだなんてとんでも無い！大川大先生に比べたら、アタ

二井田あ由美

いやいや！大川先生あつて

いやいや！ 戸塚大先生の、

二十九

- さう一 さう一 さう一

謙り合い。戸塚は懐からメモを取り出して大川の行動のメモを取る。伊波は元岡に助けを求める視線を送るが、まっすぐ見つめ返される。

あの・・・え? この人たちと一緒に働くんですか?  
正確には彼らの下についてもらつ。

この人たちの下につくんですか！？・・・下に！？

えつへつへ、僭越ながら、アタクシが上司を勤めさせていただきます。

そしてアタケシが先輩という大役をやらせて

本当に！？いやー···あの人には

アタクシ

6

アタマノイチ

戸塚、伊波の肩を叩いてメモを見るように促す。

え？え？・・・（戸塚のメモを見る）何？・・・あ、後光？後光？・・・。（目を覆う）あーっ・・・。

伊波は元岡に助けを求める視線を送るが、まっすぐ見つめ返される。

伊波 戸塚 ．．．あの、一年で戸塚さんは、こんな、感じに？なったんですか？  
へえ。アタクシ、右も左もわからないペエペエでございましたが、大川大先生のご指導の

元、何とか先生の高みに少しだけ近づいておりまして、へえ。  
いやいや！そんなそんな！戸塚大先生の才能の賜物でござりますよ、へつへつへ。

戸塚  
大川 いやいや！  
いやいや！いやーいやー！

謙り合い。戸塚はメモをとる。

伊波は元岡に助けを求める視線を送るが、まつすぐ見つめ返される。

伊波 元岡 あー、そーですかぁ・・・。

ともかく、我が社で最も営業成績の良い彼らのもとで、彼らのやり方を存分に学んで欲しい。君には期待している。では、何かあれば私に報告しなさい。

伊波 あ、じゃあ早速何ですが・・・退職します。

伊波 大・戸 ええ！  
うるせえ！